

補助事業番号 24-2-013

補助事業名 平成24年度 お年寄りが幸せに暮らせる社会を作る活動 補助事業

補助事業者名 公益社団法人認知症の人と家族の会

1 補助事業の概要

(1) 事業の目的

認知症の人や介護する家族、介護関係者が認知症の正しい知識と理解を得られるよう情報を提供し、社会への啓蒙の役割を果たすことにより社会福祉の増進に寄与する。



(2) 実施内容

①認知症支援のための情報機関誌月刊「ぼ〜れぼ〜れ」を発行するため以下の事業を行った。

ア 編集委員会を設置し、年2回の編集委員会と月ごとに編集会議を開催した。

編集委員会では、年度中間での編集内容の検討、読者等からの反応・評価の検討と今後の対応、今後の編集内容や執筆者の決定などを行った。

月ごとの編集会議では、原稿内容が適正かどうか、ページ割、見出しの検討、次号の内容決定等を行った。



イ 月刊機関誌「ぽ～れぽ～れ」の主な内容

機関誌の内容は、認知症に関わるニュース（国内、国外）、認知症に関する医療、介護などの連載、読者からのお便り、「家族の会」の調査研究の報告、介護体験、制度の解説、本人のためのページ（「仲間と出会い話したい」）、その他海外情報など

ウ 発行部数 毎月26,000部（4～6月号）～25,000部（7月号～3月号）年間303,000部

配布先は、「家族の会」会員、行政、関係団体、福祉・医療施設、地域包括支援センター、マスコミ、学校、企業、海外関連団体等。また本部や全国の支部で行う講演会、シンポジウム等でも、資料として参加者に配布した。

エ アルバイトの採用

機関誌担当者として、アルバイトを採用した。主な業務の内容は、執筆者への依頼・連絡、原稿のチェック・入力、印刷会社への原稿送付、校正、編集委員会・編集会議の諸準備、機関誌発送作業等

③機関誌通信員を配置し、資質向上のための研修を実施した。

ア 編集委員によって通信員を任命した。

4月、5月の編集会議で、通信や研修の内容決定を検討した。

イ 機関誌編集研修会の開催

編集の専門家を講師に招き、機関誌編集研修会を開催した。研修会には52名の参加があった。

2 予想される事業実施効果

現在の認知症の本人は305万人と推計され、13年後には470万人となると予想されている。この数はこれまでの推計と比べ1.5倍にもなり、4分に1人の割合で認知症の人が増えていることになる。認知症という病に初めて向き合い、苦しみ戸惑う本人や家族の増加に対して、最初に必要な情報提供や支援が急務である。このような中で、認知症の当事者を中心とした全国組織の立場で、本人や家族の視点に立った編集方針を大切にしたい他に類をみない機関誌として、役割を果たした。

対象者が急増している状況において、今後も認知症の人や家族が生きる勇気をわかせるような機関誌としての役割も担っていくことになり、「認知症になっても安心して暮らせる社会」へ向けて、その推進に貢献するものとする。

3 本事業により作成した印刷物等

月刊機関誌「ぽ～れぽ～れ」

http://www.alzheimer.or.jp/?page_id=152 (URL)

4 事業内容についての問い合わせ先

団 体 名： 公益社団法人 認知症の人と家族の会
(ニンチショウノヒトトカゾクノカイ)

住 所： 〒602-8143
京都市上京区猪熊通丸太町下る仲之町519番地

代 表 者： 代表理事 高見久二雄 (タカミクニオ)

担 当 部 署： 本部事務局 (ホンブジムキョク)

担 当 者 名： 管理部門統括主任 三木敦子 (ミキアツコ)

電 話 番 号： 075—811—8195

F A X： 075—811—8188

E - m a i l： office@alzheimer.or.jp

U R L： <http://www.alzheimer.or.jp>